

再開第3回 (通算第32回) 文化大学のお知らせ

令和4年 12月4日 (日) 15~17時開催

・講師 猪野 修治 (いの・しゅうじ) さん

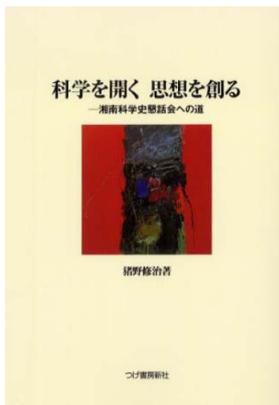
1945年7月7日、山形県東置賜郡高島町生まれ(米農家の四男坊)。高島町立和田小学校・米沢市立第一中学校・山形県立米沢工業高等学校(機械科)・東京理科大学理学部Ⅱ部物理学科卒。日本専売公社機械製作所・早稲田大学理工学部・東京大学宇宙航空研究所・東京都内私立中高等学校等の勤務を経て、現在 湘南科学史懇話会代表(主宰)



(講師近影)

・演題 実践的な在野学の冒険 — 湘南科学史懇話会 25年の歴史

<講演要旨>



猪野修治著
『科学を開く 思想を創る
湘南科学史懇話会への道』
(つげ書房新社 2003刊)

湘南科学史懇話会

ホームページ <http://shonan-kk.net/>

湘南科学史懇話会は、神奈川県湘南地域を会場に、主要には現代の科学技術とその歴史、ときには文学・民俗学・芸能などを織り交ぜ、講師と参加者が十分な時間をとり、自由に議論し交流する場です。これまでの25年余の間で106回余の懇話会を実施してきました。その懇話会に、どのような講師をお招きし、どのような議論と交流をしてきたのかを、多数の講師陣の中から27名ほどを選びだし、その研究と交流などを紹介します。

話題の概要

具体的な話題の概略は下記のようなものです。日本の知的創造の統合者、画期的な上杉鷹山研究、科学者の反軍基地闘争と核廃絶運動、福島原発による海洋放射能汚染、世界の核被害の現場、敗戦後の占領史研究、関東軍細菌線部隊731、アインシュタインの来日騒動、壮大な物理学の歴史、物理学者石原純、化学者たちの京都学派、脳死・臓器移植問題、フランス科学思想、女性化石採取者、数学史と数学教育、日本の民俗学と文化人類学、超人発明家の研究、日本の革命思想、革命前後のベトナム政治、公共哲学と教育、江戸中期の特異な思想家、藤沢の演劇(遊行かぶき)、現代詩人による中原中也研究、学術出版編集者の仕事と精神、等。

実践的な在野学の冒険

これらの多岐にわたる多様な諸課題を議論してきましたが、そのつど、講師陣のすべての研究書と関連書を読み込むことを目指し全力を投入してきました。それらの読み込みは、きわめて苦しいほどのものでしたが、しかし、在野の学徒には苦しくも至福の時でもありました。こうして、講師陣の研究書と関連書から学んだことは計り知れません。いわばそれは、他者の学問の内実に肉薄する営為でもあり、その営為は、実践的な在野学の冒険でもありました。結びに、はずかしながら、かなり自伝的な色彩を帯びた話になるうかと思えます。どうか、ご容赦をお願いします。